

平成30年7月23日
相模原市発表資料

平成30年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

平成30年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

当該期間に市内で79件(去年同期比2件減)の火災が発生し、死者は7人(3人増)で、負傷者は11人(増減なし)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は18,169件(去年同期比453件増)、搬送人員は15,991人(110人増)で、共に過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 予防課(火災関係)

042-751-9117

救急課(救急関係)

042-751-9142

平成30年上半期(1月～6月)における火災の概要(速報値)

平成30年上半期(1月～6月)に市内で79件の火災が発生しました。火災による死者は7人で、負傷者は11人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年に比べ2件の減少

火災件数は79件で、前年に比べると2件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年に比べ、建物火災は45件で2件増、林野火災は3件で1件増、車両火災は11件で3件増、その他の火災は20件で8件減となっています。

(2) 出火原因の第1位は「たばこ」、続いて「放火(疑い含む)」

全火災79件を出火原因別に見ると、「たばこ」が16件(20.3%)で1位、続いて「放火(疑い含む)」13件(16.5%)、「電気機器」6件(7.6%)、「火遊び」4件(5.1%)の順となっています。

(3) 火災による死者は7人、前年に比べ3人の増加

火災による死者は7人で、前年に比べると3人増加しています。

火災種別ごとに見ると、いずれも建物火災により亡くなりました。

また、死者7人のうち3人が、65歳以上の高齢者です。

負傷者は、11人で前年と同数となっています。

(4) 前年に比べ建物焼損棟数及び焼損面積は減少、損害額は増加

焼損棟数は66棟で、前年に比べると9棟減少しています。

建物の焼損面積は1,172㎡で前年に比べると75㎡減少しています。

損害額は7,139万7,000円で前年に比べると545万円増加しています。

2 火災概況

項 目		平成 30 年上半期	平成 29 年上半期	増 減	
合 計 (件数)		79	81	2	
火災種別	建物	件 数	45	43	2
		面積(m ²)	1,172	1,247	75
	林野	件 数	3	2	1
		面積(a)	2	26	24
	車 両	11	8	3	
	船 舶	0	0	0	
	航 空 機	0	0	0	
	その他	件 数	20	28	8
面積(m ²)		6,593	6,041	552	
原因別	失 火(構成比)	55 (69.6)	59 (72.8)	4	
	放火(疑い含む)(構成比)	13 (16.5)	11 (13.6)	2	
	不 明(構成比)	11 (13.9)	11 (13.6)	0	
焼 損 棟 数		66	75	9	
り 災 世 帯		46	50	4	
り 災 人 員		99	121	22	
死 者		7	4	3	
負 傷 者		11	11	0	
損 害 額 (千円)		71,397	65,947	5,450	

* 小数点第 2 位を四捨五入

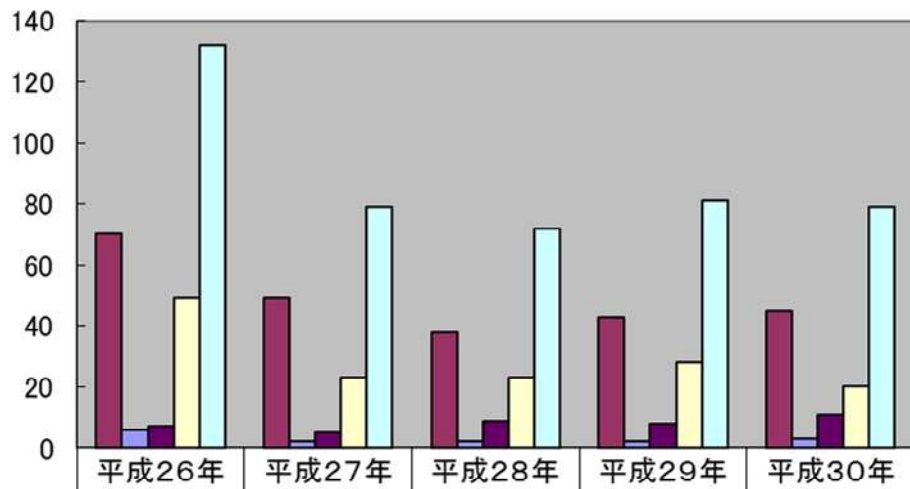
3 出火原因

平成 30 年上半期 79 件			平成 29 年上半期 81 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	た ば こ	16 (20.3%)	1	た ば こ	19 (23.5%)
2	放火(疑い含む)	13 (16.5%)	2	放火(疑い含む)	11 (13.6%)
3	電 気 機 器	6 (7.6%)	3	た き 火	7 (8.6%)
4	火 遊 び	4 (5.1%)	4	こ ん ろ	4 (4.9%)
5	排 気 管	3 (3.8%)	5	配 線 器 具	3 (3.7%)
5	電 気 装 置	3 (3.8%)			
5	電灯・電話等配線	3 (3.8%)			
そ の 他		31 (39.2%)	そ の 他		37 (45.7%)

* 小数点第 2 位を四捨五入

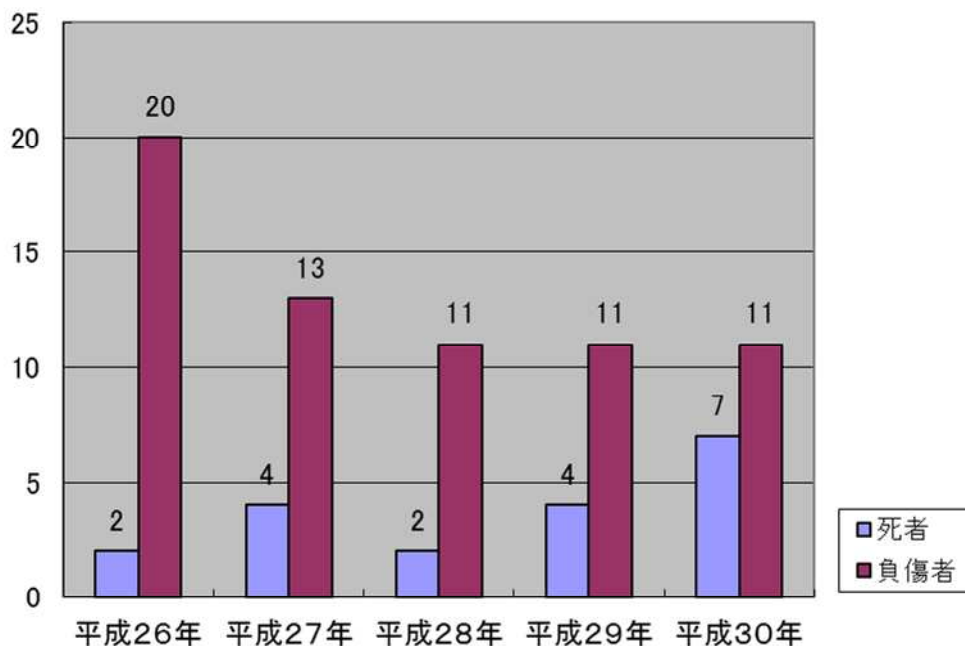
* 括弧内は全体件数に対する割合

過去5年 上半期火災件数



■建物	70	49	38	43	45
■林野	6	2	2	2	3
■車両	7	5	9	8	11
□その他	49	23	23	28	20
□合計	132	79	72	81	79

過去5年 上半期火災に伴う死傷者数



平成30年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

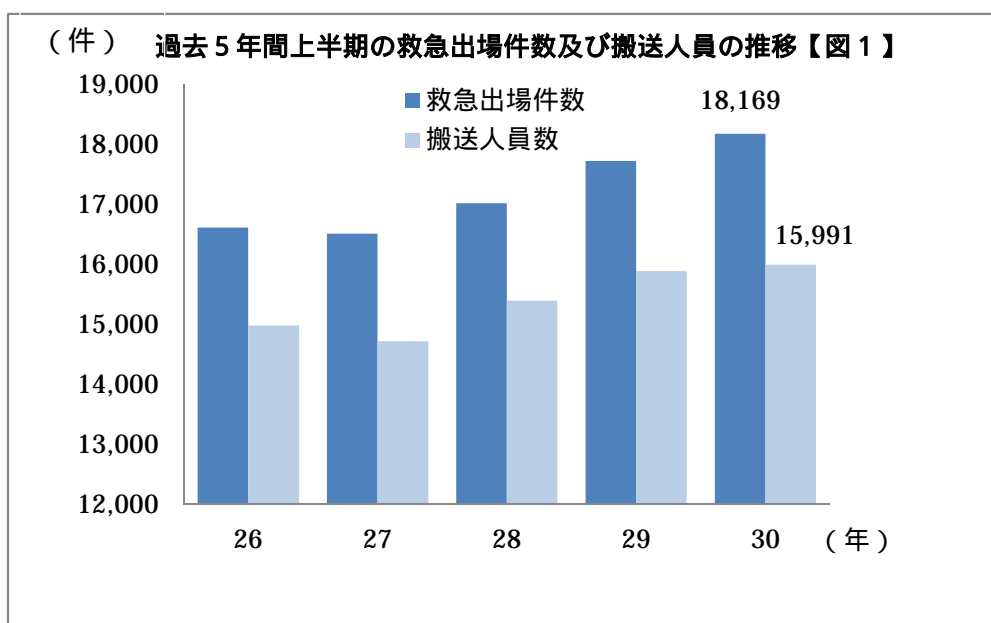
救急出場件数は18,169件、搬送人員は15,991人で、
共に増加し、**過去最多**となりました。

平成30年上半期の救急出場件数は18,169件、搬送人員は15,991人で、前年と比べ救急出場件数は453件、搬送人員は110人増加しています。

救急出場件数は、1日平均約100件、約14.3分に1回の割合で救急車が出場したことになります。

救急出場の事故種別順位としては、急病(11,615件 前年比506件増)が最も多く、一般負傷(2,297件 前年比31件減)、転院搬送(1,587件 前年比24件増)、交通事故(1,311件 前年比77件減)と続いています。

65歳以上の高齢者の搬送人員は、8,756人(前年比236人増)で54.8%を占め、過去最多となりました。



救急業務実施状況

(1) 救急概要

事故種別 区分		平成30年上半期	平成29年上半期	増減 (C) (A-B)	増減率 (C/B×100)
		(A)	(B)		
救急出場件数		18,169	17,716	453	2.6%
傷病者搬送件数		15,883	15,766	117	0.7%
不搬送件数		2,286	1,950	336	17.2%
事故種別内訳	火災	57	62	5	8.1%
	自然災害	0	1	1	100%
	水難	0	1	1	100%
	交通	1,311	1,388	77	5.5%
	労働災害	136	123	13	10.6%
	運動競技	110	134	24	17.9%
	一般負傷	2,297	2,328	31	1.3%
	加害	75	101	26	25.7%
	自損行為	157	156	1	0.6%
	急病	11,615	11,109	506	4.6%
	その他	転院搬送	1,587	1,563	24
医師搬送		10	0	10	-
資材搬送		1	3	2	66.7%
その他		813	747	66	8.8%
搬送人員		15,991	15,881	110	0.7%
性別	男性	8,428	8,508	80	0.9%
	女性	7,563	7,373	190	2.6%
程度別	死亡	123 (0.8%)	195 (1.2%)	72	36.9%
	重症	1,295 (8.1%)	1,227 (7.7%)	68	5.5%
	中等症	6,348 (39.7%)	6,320 (39.8%)	28	0.4%
	軽症	8,225 (51.4%)	8,138 (51.2%)	87	1.1%
	その他	0 (0%)	1 (0%)	1	100%

* 小数点第2位を四捨五入

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

(2) 救急隊別活動状況

隊別		平成 30 年上半期		平成 29 年上半期		対前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署	1,824	10.0%	1,857	10.5%	33	1.8%
	田名	847	4.7%	827	4.7%	20	2.4%
	淵野辺	1,547	8.5%	1,476	8.3%	71	4.8%
	緑が丘	1,354	7.5%	1,363	7.7%	9	0.7%
	上溝	1,075	5.9%	1,052	5.9%	23	2.2%
南署	本署	1,686	9.3%	1,659	9.4%	27	1.6%
	新磯	617	3.4%	621	3.5%	4	0.6%
	大沼	1,407	7.7%	1,403	7.9%	4	0.3%
	相武台	1,276	7.0%	1,201	6.8%	75	6.2%
	上鶴間	1,274	7.0%	1,236	7.0%	38	3.1%
北署	本署	1,307	7.2%	1,279	7.2%	28	2.2%
	大沢	815	4.5%	748	4.2%	67	9.0%
	相原	984	5.4%	965	5.4%	19	2.0%
	城山	862	4.7%	823	4.6%	39	4.7%
津久井署	本署	442	2.4%	420	2.4%	22	5.2%
	派出所	514	2.8%	500	2.8%	14	2.8%
	藤野	302	1.7%	286	1.6%	16	5.6%
	青根	36	0.2%				
計		18,169	100.0%	17,716	100.0%	453	2.6%

* 小数点第 2 位を四捨五入

* 平成 30 年 4 月 1 日、青根分署で救急隊の運用を開始

(3) 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		平成 30 年上半期		平成 29 年上半期		対前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	10,451	65.4%	10,221	64.4%	230	2.3%
2	一般負傷	2,107	13.2%	2,148	13.5%	41	1.9%
3	転院搬送	1,588	9.9%	1,561	9.8%	27	1.7%
4	交通	1,291	8.1%	1,364	8.6%	73	5.4%
5	労働災害	134	0.8%	121	0.8%	13	10.7%
6	その他	133	0.8%	139	0.9%	6	4.3%
7	運動競技	110	0.7%	131	0.8%	21	16%
8	自損行為	106	0.7%	104	0.7%	2	1.9%
9	加害	59	0.4%	78	0.5%	19	24.4%
10	火災	12	0.1%	13	0.1%	1	7.7%
11	自然災害	0	0.0%	1	0.0%	1	100%
11	水難	0	0.0%	0	0.0%	0	-
計		15,991	100%	15,881	100%	110	0.69%

* 小数点第 2 位を四捨五入

(4) 年齢別搬送人員

年齢区分	平成 30 年上半期		平成 29 年上半期		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	68	0.4%	65	0.4%	3	4.6%
乳幼児	878	5.5%	961	6.1%	83	8.6%
少年	639	4.0%	694	4.4%	55	7.9%
成人	5,650	35.3%	5,641	35.5%	9	0.2%
高齢者	8,756	54.8%	8,520	53.6%	236	2.8%
合計	15,991	100.0%	15,881	100.0%	110	0.7%

* 小数点第 2 位を四捨五入